

国立大学法人長岡技術科学大学
令和 6 年度第 5 回経営協議会議事要旨

日 時 令和 7 年 1 月 24 日（金）13 時 30 分～15 時 15 分

場 所 KKRホテル東京 朱鷺の間

出席者 鎌土議長、天羽委員、池田委員、井上委員、合田委員、関委員、谷口委員、Tran委員、
西岡委員、和田委員、梅田委員、吉田理事、佐藤委員、武田委員、高橋委員、井原委員、
高見委員
（議事の表決委任による出席：荒木委員、磯田委員）

陪 席 馬場監事

事務局 事務局次長（総務担当）、財務課長、人事労務室長、監査室長、総務課参事、総務課専門
員、人事労務室専門員、財務課財務企画係長、総務課総務係員

配付資料

令和 6 年度第 4 回経営協議会議事要旨（案）

資料 1－1：就業規則の一部改正について

資料 1－2：国立大学法人長岡技術科学大学職員給与規則の一部改正（案）新旧対照表

資料 1－3：国立大学法人長岡技術科学大学新年俸制適用職員給与規則の一部改正（案）新旧対表

資料 1－4：国立大学法人長岡技術科学大学本給の調整額規程の一部改正（案）新旧対照表

資料 1－5：国立大学法人長岡技術科学大学期末手当、勤勉手当規程の一部改正（案）新旧対照表

資料 1－6：国立大学法人長岡技術科学大学初任給調整手当規程の一部改正（案）新旧対照表

資料 1－7：国立大学法人長岡技術科学大学管理職手当規程の一部改正（案）新旧対照表

資料 1－8：国立大学法人長岡技術科学大学役員報酬規則の一部改正（案）新旧対照表

参考資料 1：令和 6 年人事院勧告に伴う給与規則等の改正方針について

参考資料 2：本年の給与勧告のポイント

資料 2－1：令和 7 年度長岡技術科学大学予算編成方針（案）のポイント

資料 2－2：令和 7 年度長岡技術科学大学予算編成方針（案）

資料 3：学長選考・監察会議構成員の選出について

報告 1－1：令和 6 年度政府補正予算及び令和 7 年度運営費交付金等予算の伝達について

報告 1－2：令和 6 年度補正予算及び令和 7 年度当初予算伝達額（教育研究組織改革分・共通政策課
題分）

報告 1－3：イノベティブパワーエレクトロニクスシステムセンター試験設備

報告 1－4：令和 6 年度補正予算及び令和 7 年度当初予算伝達額（施設整備分）

報告 1－5：長岡技術科学大学基幹運営費交付金予算額（令和 6－7 年度比較）

報告 1－6：成果を中心とする実績状況に基づく令和 7 年度の基幹運営費交付金配分額について

報告 1－7：令和 7 年度国立大学関係予算案の概要

報告 2：国立大学法人等における剰余金の翌事業年度への繰越しに係る承認について

報告 3：令和 7 年度執行部体制について

議事に先立ち、令和 6 年度第 4 回経営協議会議事要旨（案）について説明があり、案のとおり承認した。

【審議事項】

1. 就業規則等の一部改正について

佐藤委員から資料 1－1 から資料 1－8 に基づき説明があり、審議の結果、これを承認した。

主な質疑応答は以下のとおり（○：学外委員からの質問、意見等 ●：大学からの回答）

○新規の職員採用及び離職の状況はどうか。

●事務職員については、優秀な人が応募してくれていると思う。情報系で働いていた人など、前職との給料の乖離があって合格を出しても躊躇するなどもあったが、全体としては数人の募集のところを10数名の応募がある。

●教員の方が今は厳しい状況ですが、優秀な方の採用ができており活性化してると感じている。離職の方は、リスクを感じたことはない。

2. 令和7年度長岡技術科学大学予算編成方針について

吉田理事及び佐藤委員から資料2-1から資料2-2に基づき説明があり、審議の結果、これを承認した。

主な質疑応答は以下のとおり（○：学外委員からの質問、意見等 ●：大学からの回答）

○市、地域の方も非常に期待をしておられる。その分しっかりやってくれているという印象持っておられるので、いろんな予算もついてると思う。ぜひ今のこの方針でしっかりと進め、地域の発展などを頭の中に入れて、頑張られると非常に評価が高くなっていく。

●激励の言葉が大変ありがとうございます。

○ベンチャーキャピタルに出資できるよう検討いただきたい。イメージとしては数千万円くらいの規模感です。

○教育研究を通じて社会に具体的に貢献していく上では、文部科学省以外の国のファンド、あるいは自治体、民間の外部資金の確保も重要である。目標を立ててそれに向かってやっておられると思うが、その辺の情報を簡単にご紹介願いたい。

●オープンイノベーションの場所を確保してそこの中で企業にも入っていただく。すでにプラットフォームを作って、30社ぐらい入っていただいて、3Dプリンターを活用してそのあとの機械加工などの設計ができるような人材育成も含めた形のことをする。また、フードロス等がない仕組みを作り上げて、植物工場を作るとか、そこに供給するエネルギーを自分たちで作って循環させるようなシステムを作る。まず大学の中で企業の方も入っていただき、自治体と一緒に進めながら、展開していく。特に食料関係とかは県内で重要な位置を占める。これかを展開して、大きな市場があると思う。

○最近、研究者の道を選ぶ方が少なく産業界に行ってしまう方が増えてると伺ったことがある。

本学の大きな使命として、産業界で活躍する人材の育成・輩出は非常に重要だと思うが、人材を教育するあるいは、最先端の研究を続ける研究者の育成も大事と思う。

●今年で卓越大学大学院プログラムが終了するが、60%が産業界に就職している、それ以外の40%が本学に残る或いは、研究機関、国研とか、バラエティに富みますので、あまり心配していない。

3. 学長選考・監察会議構成員の選出について

鎌土議長から資料3に基づき説明があり、審議の結果、本学と設立の趣旨を共有する大学の観点から豊橋技術科学大学 理事・副学長 井上委員を選出した。

【報告事項】

1. 令和6年度政府補正予算及び令和7年度運営費交付金等予算の伝達について

佐藤委員から報告1に基づき報告があった。

2. 令和5年度決算剰余金の繰越の承認について

佐藤委員から報告2に基づき報告があった。

3. 令和7年度執行部体制について

鎌土議長から報告3に基づき報告があった。なお、体制については今後変更する可能性があり最終版は次回の3月開催の本会議にて報告する旨の発言があった。

以 上